

第3回中心市街地再構築全体構想町民会議

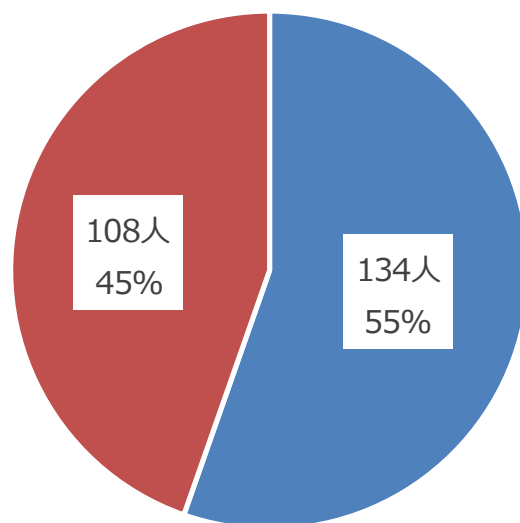
令和元年9月25日
株式会社 日本総合研究所

1. 町民向けアンケート調査

1-1. 町民向けアンケート結果 回答者の属性

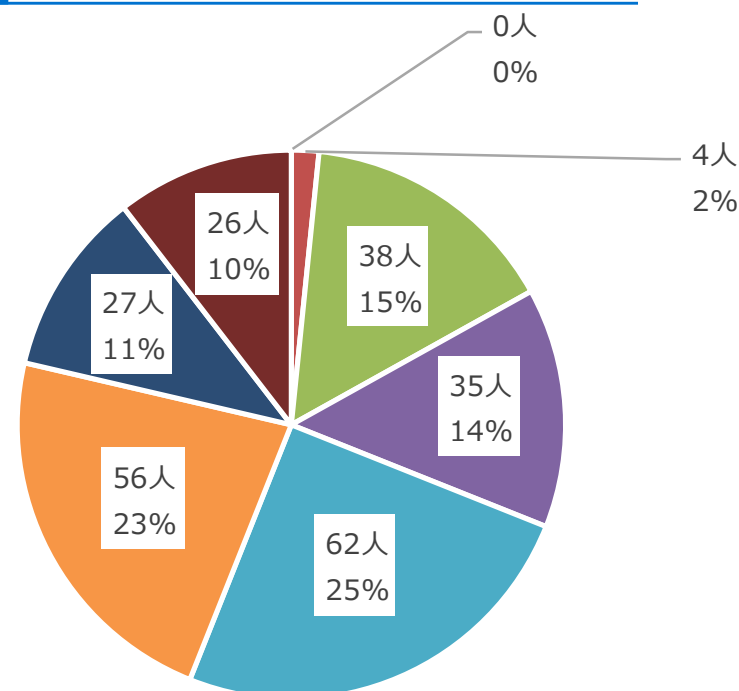
- 回答者数は257名である。
- 性別では男性がやや多い。年代別にみると40代、50代が多く、40代以上が回答者全体の7割以上を占めている。

性別



■ 男性 ■ 女性

年代



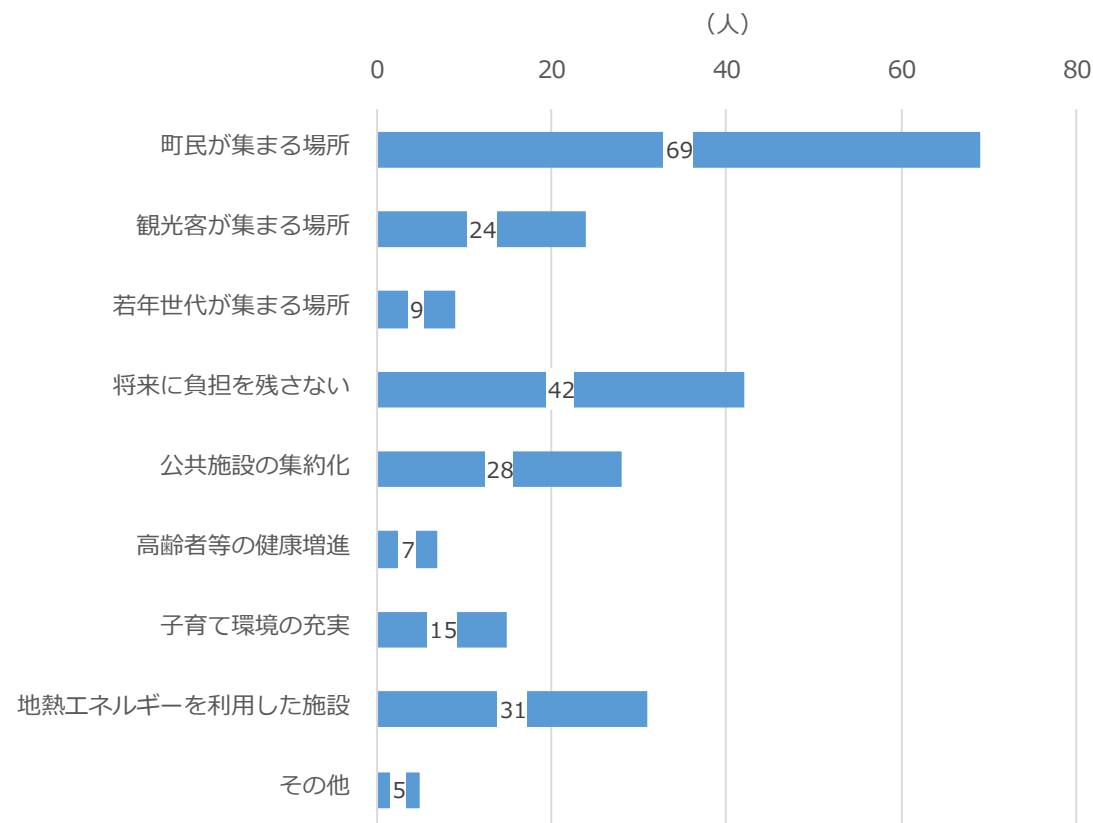
■ 10歳未満 ■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代

1 - 1. 町民向けアンケート結果 最も重要であると考えた視点

- 回答者が最も優先順位が高いと答えた視点は下記の通り。「町民が集まる場所」を選んだ人が最も多い。
- 「将来に負担を残さない」「公共施設の集約化」など財政負担をかけないことを重視する人も多い。「地熱エネルギーを生かした施設」「観光客が集まる施設」も多く選択された。

【問2】営林署跡地はどういった視点を優先して公共施設等を整備するのが良いと思いますか？（あてはまるアルファベットを○で囲み、優先順位が高いと思われる順番に（ ）に1からの順番を書いてください。（複数回答可）

最も優先順位が高いと考えた視点（n=257）

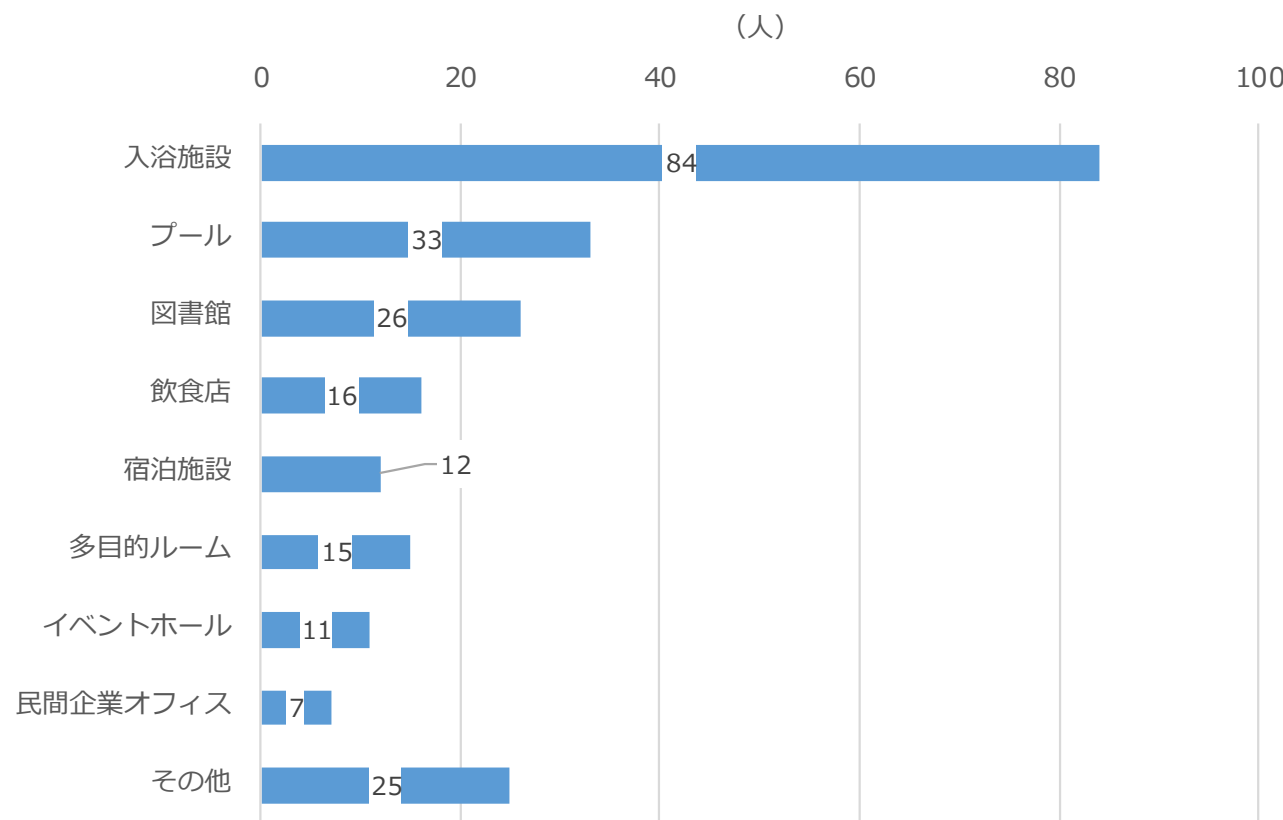


1-1. 町民向けアンケート結果 最も重要であると考えた施設

- 回答者が最も優先順位が高いと答えた施設は下記の通り。「入浴施設」を選んだ人が最も多い。
- 次いで多いのはプール、図書館であり、現在建替え・集約化が検討されている公共施設を選択した人が多かった。

【問3】営林署跡地に具体的に整備されるのが望ましいと思う施設等は何ですか？（あてはまるアルファベットを○で囲み、優先順位が高いと思われる順番に（ ）に1からの順番を書いてください。（複数回答可））

最も優先順位が高いと考えた施設（n=257）



1-1. 町民向けアンケート結果 個別の施設を選択した理由について

- ・「摩周温泉」というブランドがありながら観光客を案内できる温浴施設がない、という理由から入浴施設を選択する人が多かった。他方で、町民の共同浴場として使える施設を想定した意見もあった。
- ・プールは、営林署跡地が弟子屈小学校に近いことから、子供たちの遊び場としての機能を期待する回答者が多かった。

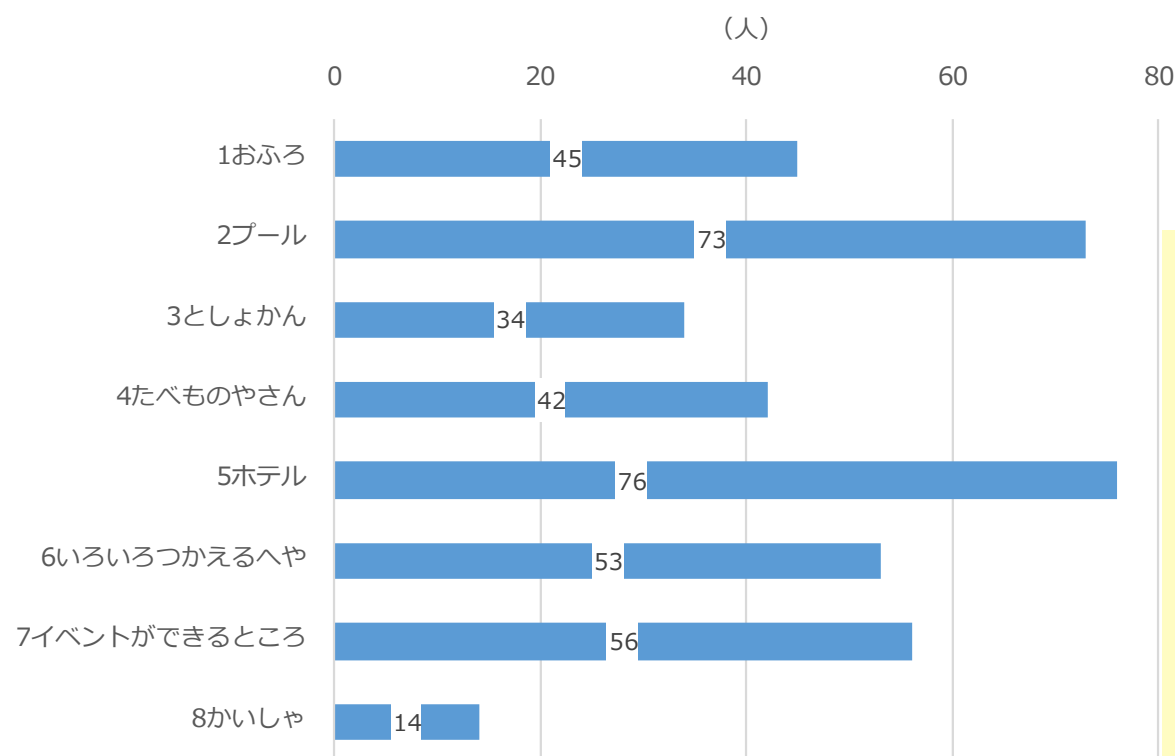
入浴施設	・「摩周温泉」というブランドを有しているにもかかわらず、観光客に「温泉はどこにあるのか」と聞かれたとき案内できるような施設がない。 ・入浴施設であれば、町民と観光客の双方が利用できる。 ・入浴と併せて食事でもできるような複合施設にしてはどうか、地熱エネルギーを活用してはどうか、民間企業を活用してはどうか等の意見も挙げられた。	飲食施設	・人が集まる施設であるから。 ・町民が利用できるような飲食店が必要とする意見と、観光客をもてなせる場が必要であるとする意見の双方があった。 ・具体的な施設の例として「フラノマルシェ」を挙げる回答者が複数いた。
プール	・川湯室内温水プール（現行の施設）が中心市街地から遠い。老朽化している。 ・営林署跡地は中心市街地にあり、かつ弟子屈小学校からも近いので、子供たちがより利用しやすくなることが期待できる。 ・プールは子供たちの放課後・夏休みの遊び場所、あるいは健康増進の場所として機能することが期待できる。	宿泊施設	・宿泊施設があれば観光客が増加するのではないか。また、雇用の創出などの経済的な波及効果も期待できる。 ・安価に泊まれる宿泊施設や、（町内の飲食店と競合しないような）素泊まりの宿泊施設があるとよいのではないか。
図書館	・現状の図書館は狭く、冊数も足りていないなど、機能的に十分ではない。利用者がゆとりと本を読むスペースがない。 ・図書館は多様な世代が利用でき、将来の投資にもなる。 ・図書館だけでなく、飲食できるスペース、くつろげるスペース、生涯学習機能等を併せて整備すべきであるとの意見もあった。	多目的ルーム	・現在町内には町民が集まれる場所が不足している。 ・子供たちが室内で遊べるような場所が必要である。 ・飲食店同様、他の施設に併設する形で、町民が集まって活動できる（サークル、ボランティアなど）場所を整備してはどうかとの意見が挙げられた。

1 - 2. 小学校低学年向けアンケート結果

- 小学校低学年向けアンケートの回答結果は下記の通り。「5 ホテル」「2 プール」が特に多く、「6 いろいろつかえるへや」「7 イベントができるところ」も多くの児童が選択した。
- その他はほとんどが娯楽施設であり、具体的な全国チェーンの名称が挙げられている回答が多かった。

弟子屈(てしかが)小学校(しょうがっこう)のむかひのところにはどんな
たてものがあたらよいとおもいますか？（あてはまるものに○をつけてください。いくつ○をつけてもよいです。）

回答結果 (n=106)



「その他」を選択した回答者が記入した内容のうち、主なものは下記の通り。

- ゲームセンター (23人)
- キャラクターショップ (14人)
- 複合商業施設 (8人)
- おもちゃ屋 (6人)
- 映画館 (6人)
- 公園 (4人)

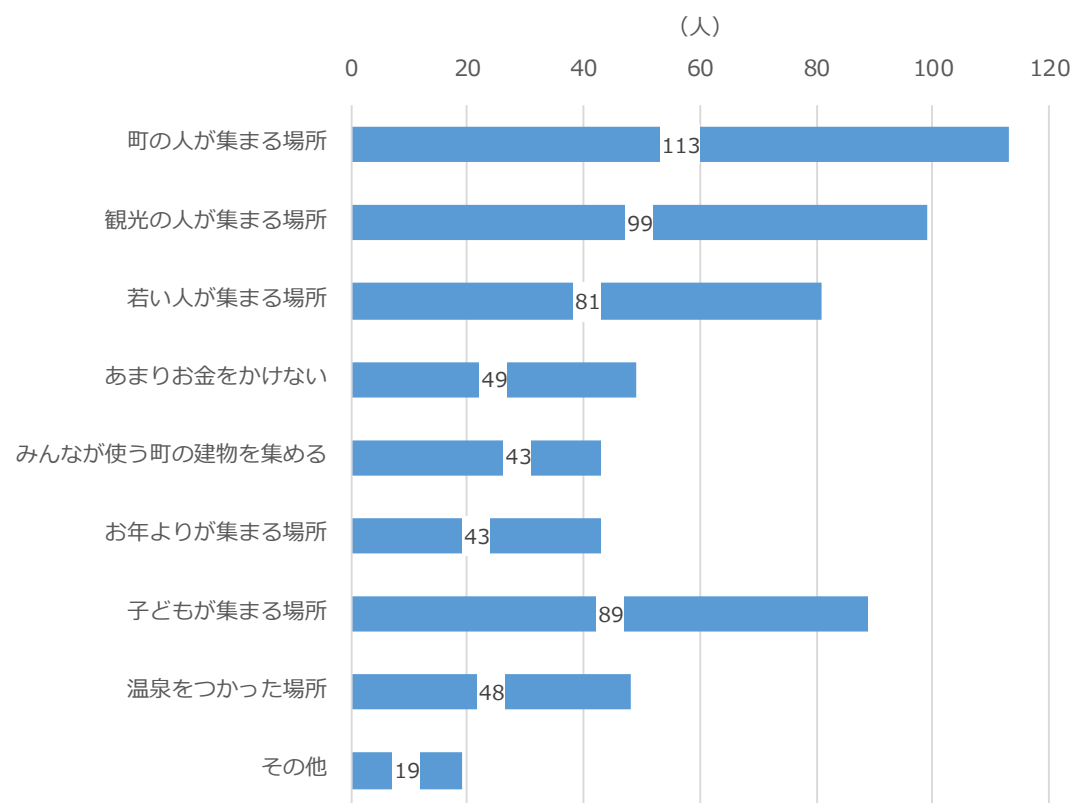
※一人で複数の回答を記入している場合もある。

1－3．小学校高学年～中学生向けアンケート結果 営林署跡地のあり方

- ・ 営林署跡地のあり方については、町民向けアンケート同様、「町の人が集まる場所」が最も多く選択された。
- ・ 「観光の人が集まる場所」、若い人が集まる場所」、「子供が集まる場所」も次いで多かった。

【問2】まちの中心（弟子屈小学校の向（む）かい）の土地（とち）はどんなところだったら良（よ）いと思いますか？
 （あてはまる番号（ばんごう）に○をつけてください。いくつ○をつけても良（よ）いです。）

回答結果（n=222）



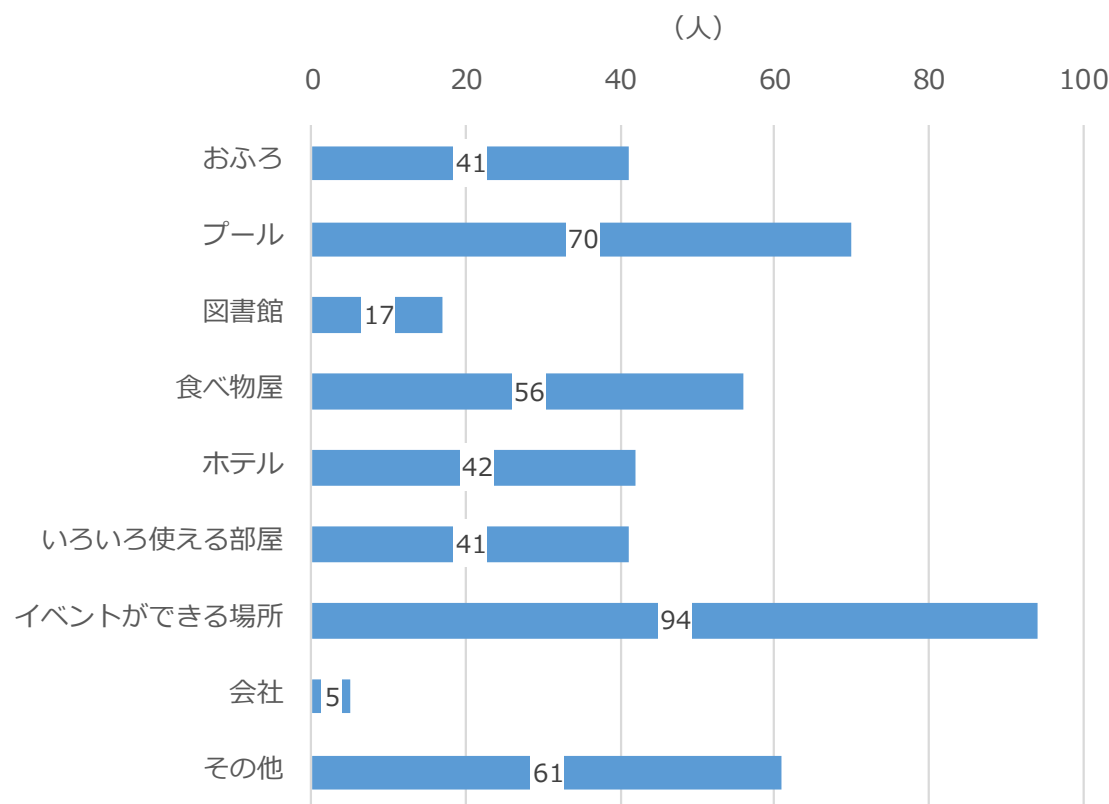
「その他」については、「遊べる場所」「楽しい場所」等の回答がほとんどであった。

1－3．小学校高学年～中学生向けアンケート結果 整備すべき施設

- ・「イベントができる場所」を選択した回答者が最も多く、「プール」「食べ物屋」「その他」も多かった。
- ・「その他」では小学校低学年同様、娯楽施設や子供同士で遊べる場所を記入する回答者が多かった。

【問3】弟子屈小学校の向(む)かいの土地(とち)には何(なに)があったら良(よ)いと思いますか？
 (あてはまる番号(ばんごう)に○をつけてください。いくつ○をつけても良(よ)いです。)

回答結果 (n=222)



「その他」を選択した回答者が記入した内容のうち、主なものは下記の通り。

- ・ ゲームセンター (15人)
- ・ 書店 (6人)
- ・ 複合商業施設 (5人)

その他、「子供が遊べる場所」「買い物ができるところ」「運動できるところ」、体育館、服屋などの回答があった。

※一人で複数の回答を記入している場合もある。

1－3．小学校高学年～中学生向けアンケート結果 個別の施設を選択した理由

- 「お風呂」「食べ物屋」「イベントができる場所」は町民・観光客の別を問わず、人が集まる場所であるという理由で選択されることが多かった。子供たちが遊べる場所がほしいという意見も多く見られた。
- 特に「プール」については、既存の施設が小学校から遠く行きづらいという理由から、弟子屈小学校の近くに作ってほしいという意見が多くあげられた。

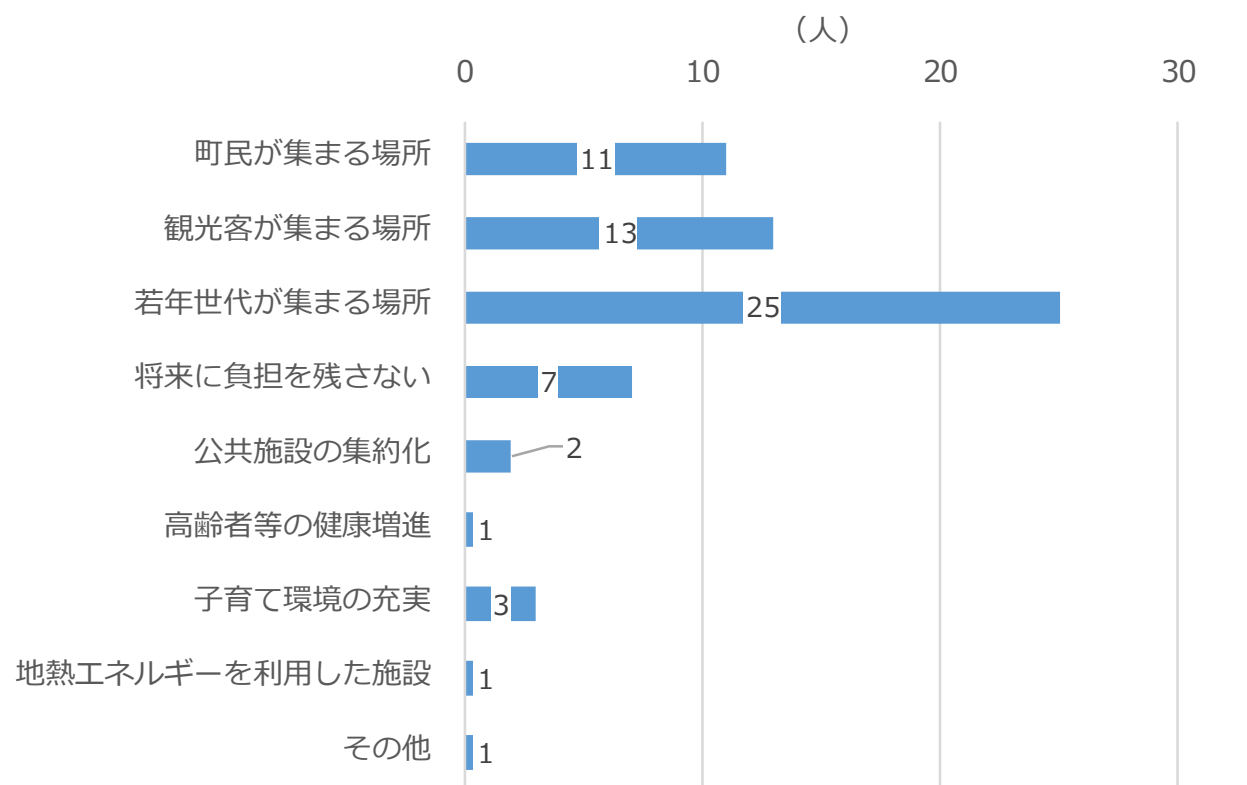
お風呂	- 弟子屈町は温泉が有名だが、大規模な入浴施設がないから。 - 風呂は年代を問わず、子供でもお年寄りでも利用できる施設だから。 - 観光客が手軽に立ち寄れるから（入浴施設と土産物屋、ホテル、飲食店等を組み合わせてはどうかとの意見もあった）。	ホテル	- 弟子屈町には現状あまりホテルがない。 - 観光客が泊まったり、ゆっくり休んだりできる場所を作ること、弟子屈町に観光客が呼び込みやすくなるから。
プール	- 既存の川湯室内温水プールが遠いため、小学校の近くにプールがあったほうが授業の際の移動が少なくて済み、自主練習もしやすくなるから。 - みんな（子供同士だけでなく、年代を問わず誰でも利用できるという意味合いを含む）で楽しむことができるから。	いろいろ使える部屋	- もっと子供が遊べる場所を増やしてほしい。 - ひとつの目的のための施設より、いろいろな目的で使える施設の方がよい。
食べ物屋	- 町内には飲食店が少ない。子供や学生同士で遊ぶときに、気軽に行けるような場所があるとよい。 - 食べ物屋は観光客も、町の人たちも楽しむことができる。	イベントができる場所	- 近年町内ではイベントが減っている。 - イベントがあれば、（観光客を含め）いろいろな人が集まるから。

1－4．高校生向けアンケート結果 重視すべき視点

- 「若年世代が集まる場所」を最も優先すべきとする回答者が特に多く、次いで「観光客が集まる場所」「町民が集まる場所」が多い。全体として、人が集まれる場所であることが重視される傾向にある。

【問2】営林署跡地はどういった視点を優先して公共施設等を整備するのが良いと思いますか？（あてはまるアルファベットを○で囲み、優先順位が高いと思われる順番に（ ）に1からの順番を書いてください。（複数回答可）

回答結果（n=68）

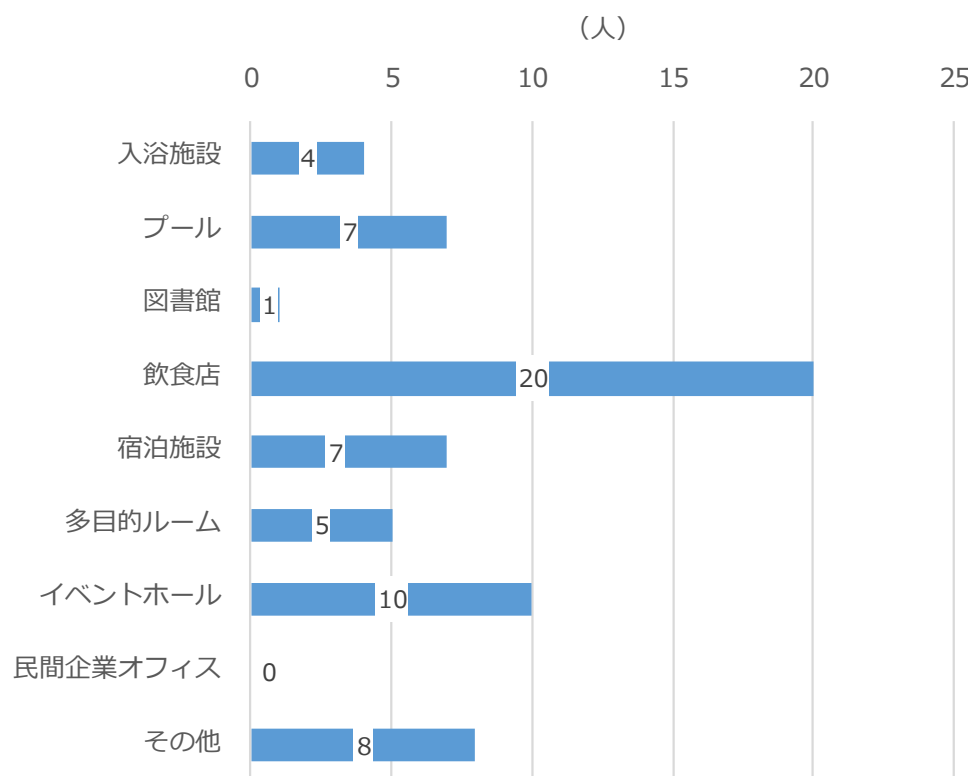


1-4. 高校生向けアンケート結果 整備すべき施設

- 回答者が最も優先順位が高いと答えた視点は下記の通り。
- 「飲食店」を選んだ人が最も多く、次いで「イベントホール」が多い。「その他」では複合商業施設、ゲームセンターなど、娯楽施設を記入した回答者が多かった。

【問2】営林署跡地に具体的に整備されるのが望ましいと思う施設等は何ですか？（あてはまるアルファベットを○で囲み、優先順位が高いと思われる順番に（ ）に1からの順番を書いてください。（複数回答可）

回答結果（n=68）



「その他」を選択した回答者が記入した内容のうち、主なものは下記の通り。

- 複合商業施設（5人）
- ゲームセンター（2人）

その他、ボウリング場、100円ショップ、全国チェーンの飲食店などの回答があった。「何も作らない」という回答も1件あった。

※一人で複数の回答を記入している場合もある。

1-4. 高校生向けアンケート結果 個別の施設について②

- 最も多くの回答者が選択した「飲食店」は、人（特に若い世代）が集まり、楽しく過ごせる場所として重視されている。多目的ルームも、交流の場として認識されている。
- プールは、楽しめる場所、放課後や休日に友人と集まって遊べる場所として認識されている。
- 宿泊施設については、観光客を増やすために必要な施策として選択した人が多かった。

飲食店	- 町内の飲食店が減っているから。 - 観光客も町民も利用できる場所だから。若い人が楽しく集まれるような場所を作るべきである。	宿泊施設	- 現状では観光客が泊まれるところがない。 - 観光客を増やす上で、必要な施設を整備した方がよい。
イベントホール	町内でイベントを開催してほしい。イベントを通じて若い世代に弟子屈を認知させ、有名な場所にできるとよい。	多目的ルーム	- 学生が休日に遊ぶことができる場所が少ないから。 - 高齢化や人口減少が進む中で、地域の人々が気楽に集まり、様々な世代の人と交流できる場は重要だから。
プール	- プールがあれば楽しめそうである。放課後や休日に友達と遊べる場所がほしい。 - プールは小さい子供でも、高齢者でも遊んだり運動したりできる。 - 川湯のプールは危ないし、遠い。	入浴施設	弟子屈町には町を代表するような温泉施設がない。

1－5．弟子屈高校卒業生聞き取り調査（9月18日）

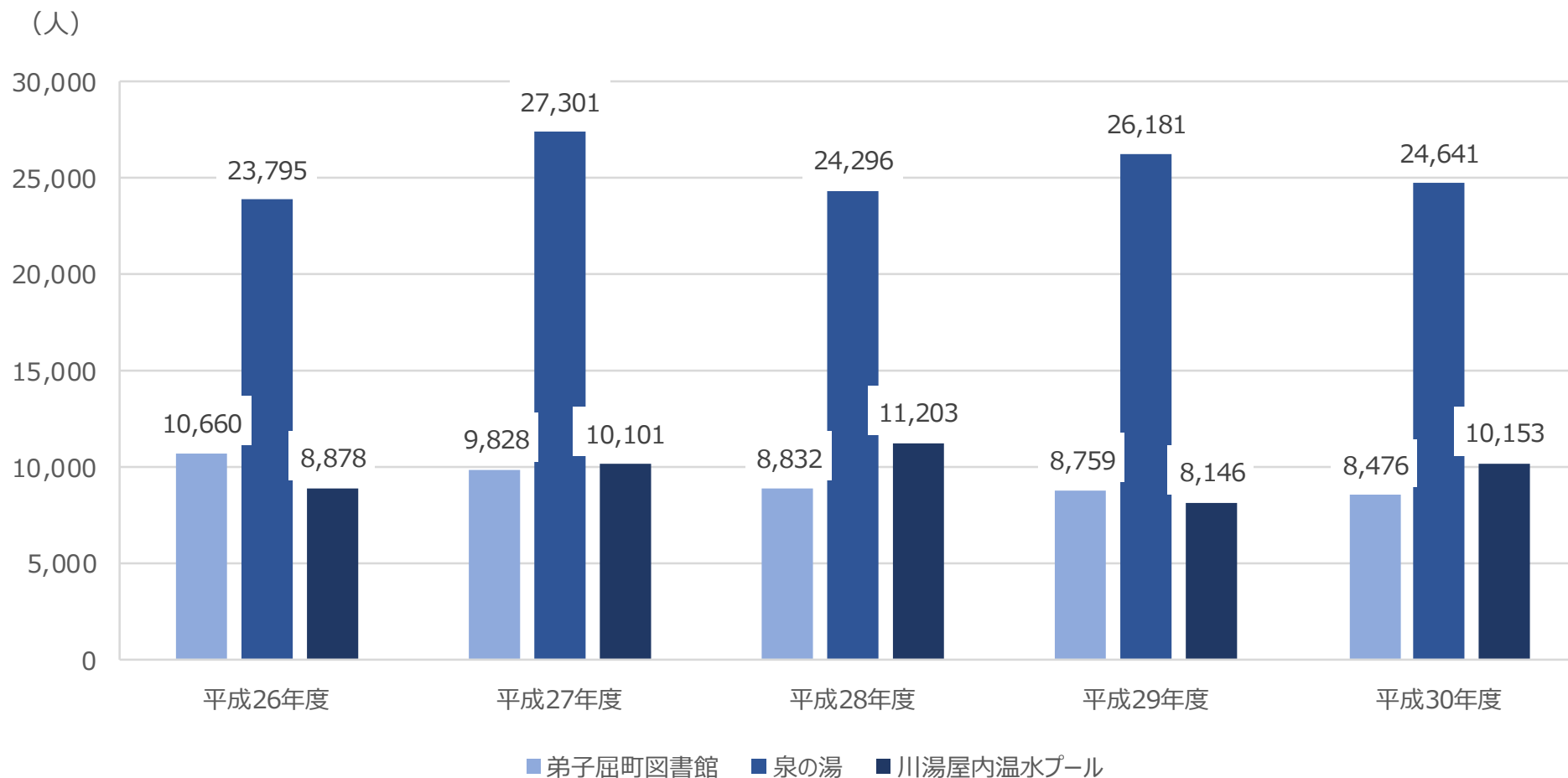
- ・1・2年生の8割は部活に所属しており平日は午後7時ぐらいまでは部活の練習。その後にご飯を食べに行く程度はあるがほぼ平日は時間がない。土日についても部活があるので夕方までは忙しい。部活後に友人と遊ぶ事はある。
- ・3年生の部活引退後は午後3時以降は非常にヒマ。数人で町内の喫茶店（ポプラ：パフェなど甘いものがあるので）やJA摩周湖の2階（簡易カラオケボックス1室がある。）、セブンイレブン、友達の家（セブンイレブンでお菓子等買って話したりゲームをしたり）といった事が多い。飲食店（弟子屈ラーメン、昇龍軒）に行く事もあるが食事が済んだら長居する事は出来ない。
- ・土日には親に連れて行ってもらって友達とイオン等に行く事はある。帰り時間を待ち合わせて帰ってくる。JRを使って行くという話はあまりない（釧路駅前に遊びたい施設が無い。）。
- ・地域のお祭り（7月夏まつり、8月サマージャック、神社祭、2月ウィンターフェスタ等）の際には普段は外で遊んでいない友達も大勢その場所に出る。食べたり飲んだりしゃべったりする事が楽しい。会場から喫茶店に移動して遅くまで遊ぶ。
- ・軽食や甘いモノが食べられて数人で喋ったり集まれるオシャレな場所があればうれしい。

2. 公共施設の現況

2-1. 個別施設の状況 近年の利用者数の推移

- ・ 弟子屈町図書館、泉の湯、川湯屋内温水プールの利用者数は近年下図表の通り推移している。
- ・ 泉の湯の利用者数は突出して多く、他の施設の2倍以上である。
- ・ 川湯屋内温水プールは老朽化による改修工事での休館の影響もあり年度により利用者数に差がある。

図表：各施設の年間利用者数の推移



出所：貴町提供資料を基に日本総研作成

2-2. 個別施設の状況 弟子屈町図書館

- 近年年間利用者数は漸減しているものの、延床面積において日本図書館協会「公立図書館の任務と目標」で定められた最低値を、蔵書冊数で人口規模から算出される基準値を下回っている。
- 既に配架スペース等が逼迫している状況。

図表：施設概要

所在地	弟子屈町中央2丁目290番地
開設	平成元年4月1日(注)
延床面積	407.50㎡
蔵書冊数	60,603冊(H30年度末)
施設概要	1階(346.29㎡) 配架スペース、絵本コーナー、閲覧スペース、 郷土資料室、事務室、男女トイレ、給湯室 地下(61.21㎡) 閉架書庫、郷土資料保管庫、 物置(寄贈／古本市図書一時保管スペース)
年間利用者数	8,476人(H30年度)
管理コスト	約15,000千円/年
開館時間	9時から18時(火～金) 9時から17時(土、日)
休館日	毎週月曜日、祝日、年末年始、 第4金曜日(図書整理日)

(注) 敷地及び建物をNTT東日本から借用。NTTビル竣工は昭和58年である。

図表：現状における課題

日本図書館協会「公立図書館の任務と目標」によれば、図書館の最低規模及び人口7,758人と仮定した場合の施設規模の基準値は下記の通り。
弟子屈町図書館は基準値を下回っている。

■蔵書冊数	
最低規模：50,000冊	基準値：70,359冊
■延床面積	
最低規模：800㎡	基準値：1,122.9㎡



出所：貴町提供資料、日本図書館協会「公立図書館の任務と目標」を基に日本総研作成

2-3. 個別施設の状況 町営公衆浴場「泉の湯」及び川湯屋内温水プールの概況

- ・ 泉の湯及び川湯屋内温水プールの概況は下記の通り。
- ・ 年間利用者数、運営日数1日当たり利用者数、利用料収入ともに泉の湯のほうが多いが、管理運営に要するコストは川湯屋内温水プールの方が高い。

図表：「泉の湯」施設概要

所在地	弟子屈町泉3丁目4-30
建築年	昭和50年度
延床面積	287.55㎡
施設概要	浴場(238.95㎡)、ポンプ室(12.96㎡)、 管理人室(35.64㎡) ※カランの湯と浴槽は温泉水
耐震化の有無	未実施
管理コスト	約8,500千円/年(収入は約4,700千円)
年間利用者数	24,641人(H30年度)
開館時間	13:00～21:00
休館日	毎週火曜日
利用料金	大人200円、中人120円、小人80円

図表：川湯屋内温水プール施設概要

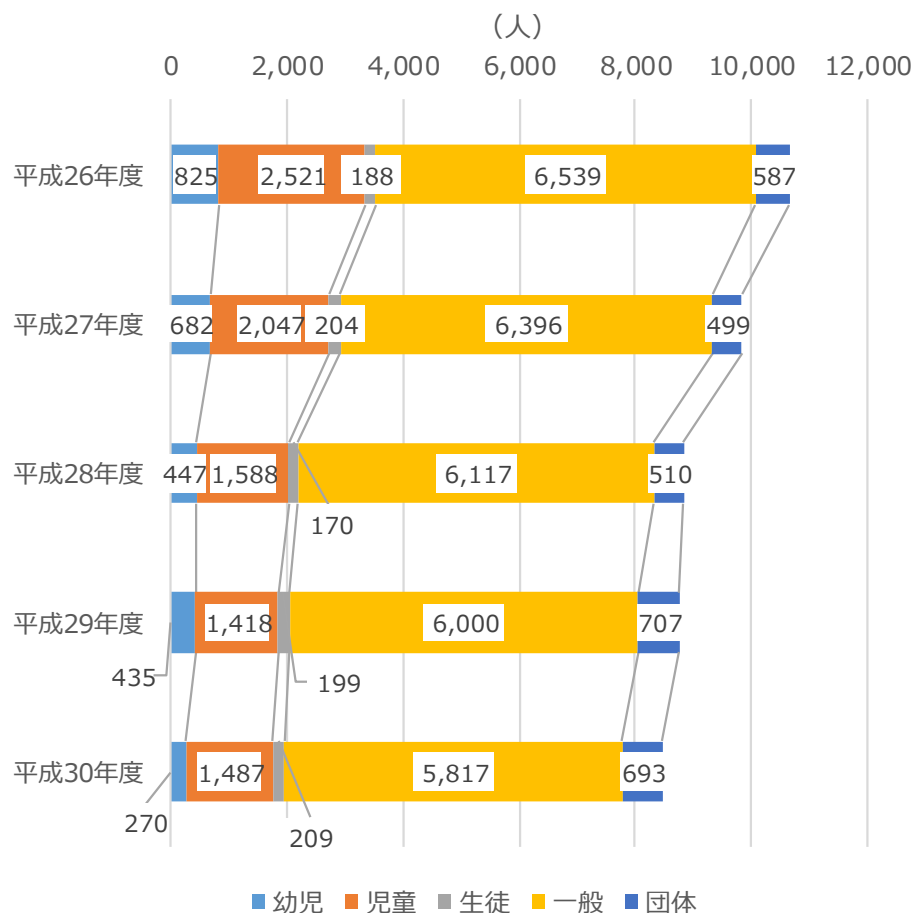
所在地	弟子屈町川湯温泉3丁目2番35号
建築年	昭和55年度
延床面積	1,473.51㎡
施設概要	プールその他(498㎡)、アリーナ(768㎡) ※競泳プール6レーン、幼児用プール、 採暖室、更衣室、シャワー室等を含む
耐震化の有無	未実施
管理コスト	約19,800千円/年(収入は約800千円)
年間利用者数	10,153人(H30年度)
開館時間	10:00～17:00
休館日	毎週月・火曜日、年末年始等
利用料金	一般540円、高校生210円、小中学生 100円

出所：弟子屈町公共施設等個別施設管理計画、貴町提供資料を基に日本総研作成

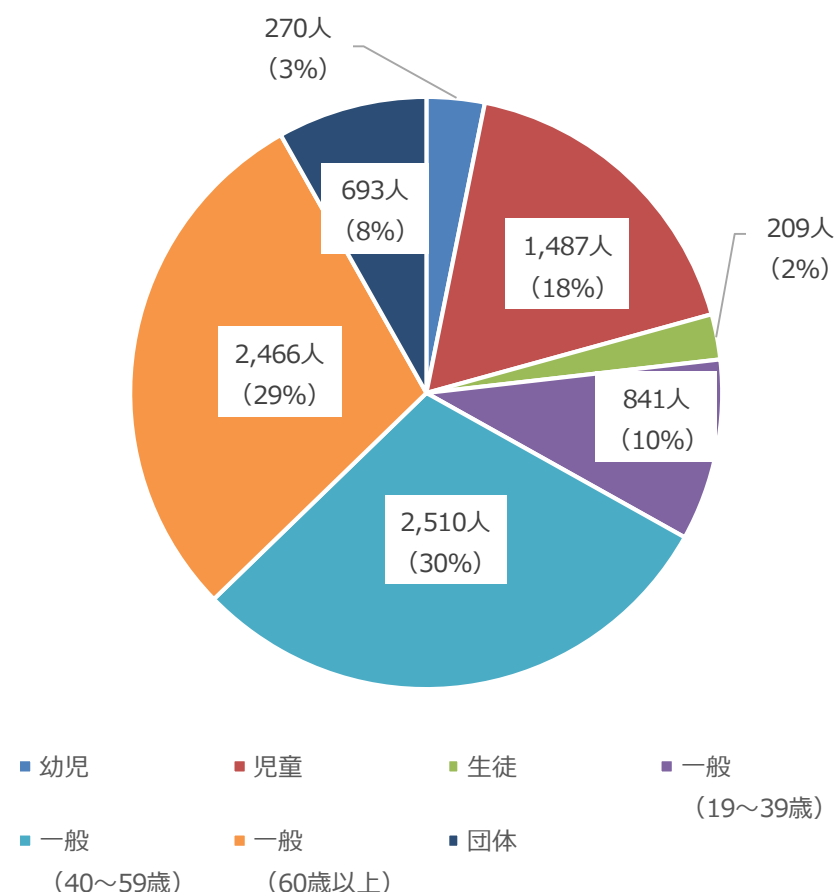
2-4. 個別施設の状況 弟子屈図書館 利用者の属性

- 近年全体的に利用者数が減少しているが、特に幼児及び児童による利用の減少が著しい。
- 平成30年度の利用状況を年代別に見ると、40～59歳と60歳以上が利用者のそれぞれ3分の1ずつを占めており、中高年による利用が多い。反面、20～40代による利用は少ない。

図表：利用者数（年代別）の推移



図表：平成30年度の図書館利用状況（年代別）

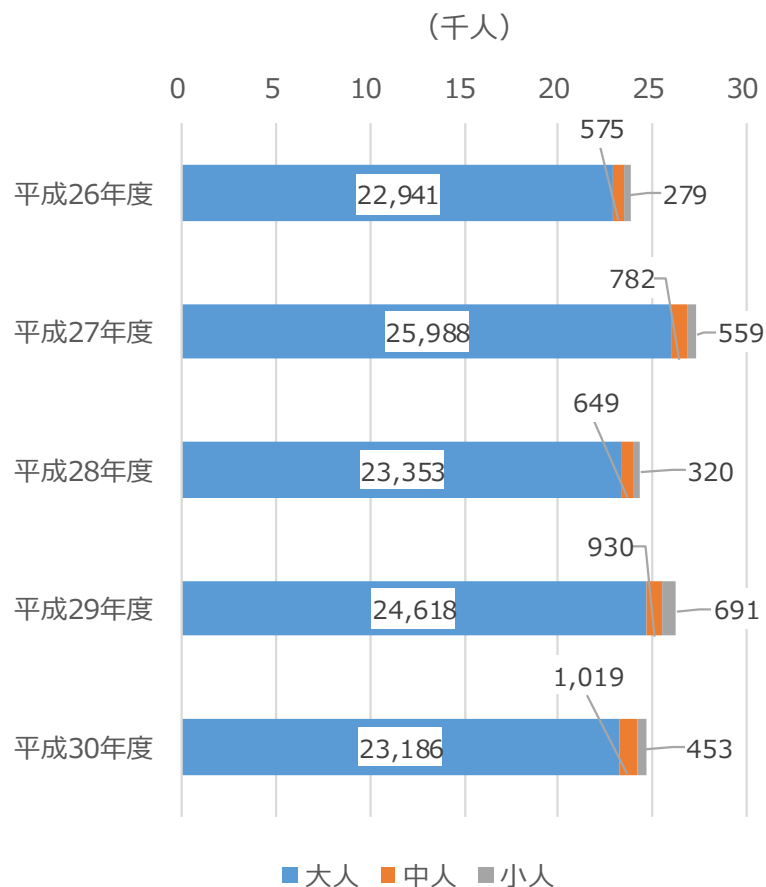


出所：貴町提供資料を基に日本総研作成

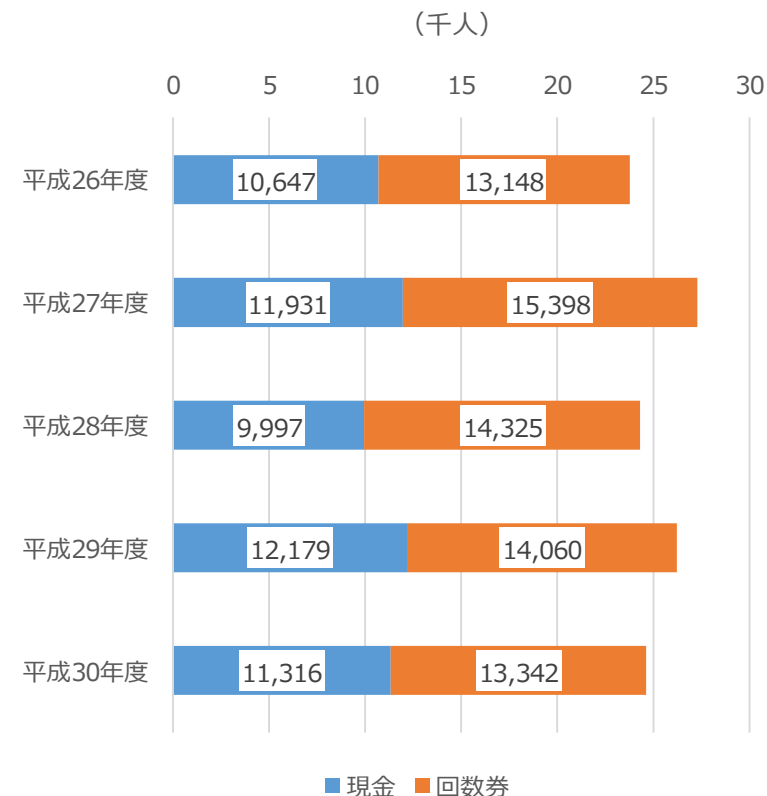
2-5. 個別施設の状況 泉の湯 利用者の属性

- 年齢区分別に見ると、近年中人（小学生から中学生）による利用がやや増加しているものの、一貫して利用者の9割以上を大人（高校生以上）が占めている。
- 料金区分別に見ると、来場頻度が高いと類推される回数券での利用者が半数以上を占める。

図表：利用者数（年齢区分別）の推移



図表：利用者数（支払い方法別）の推移



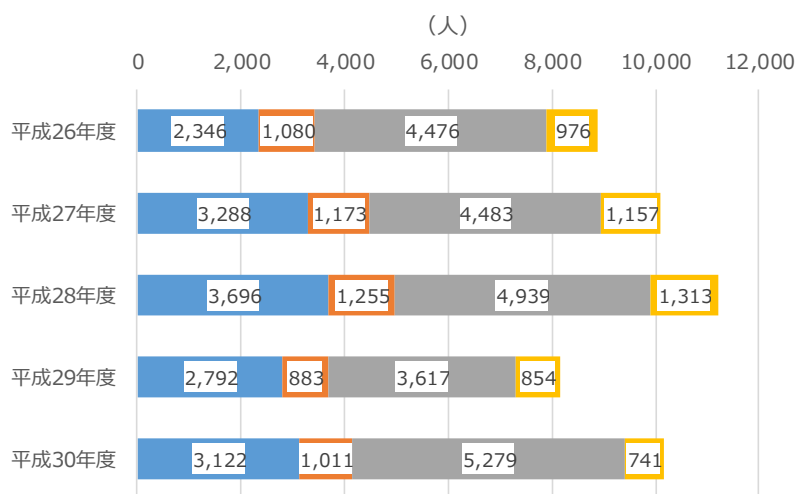
回数券は11枚綴りで、現金支払での利用よりやや割安である。
(大人2,200円、中人1,200円、小人800円)

出所：貴町提供資料を基に日本総研作成

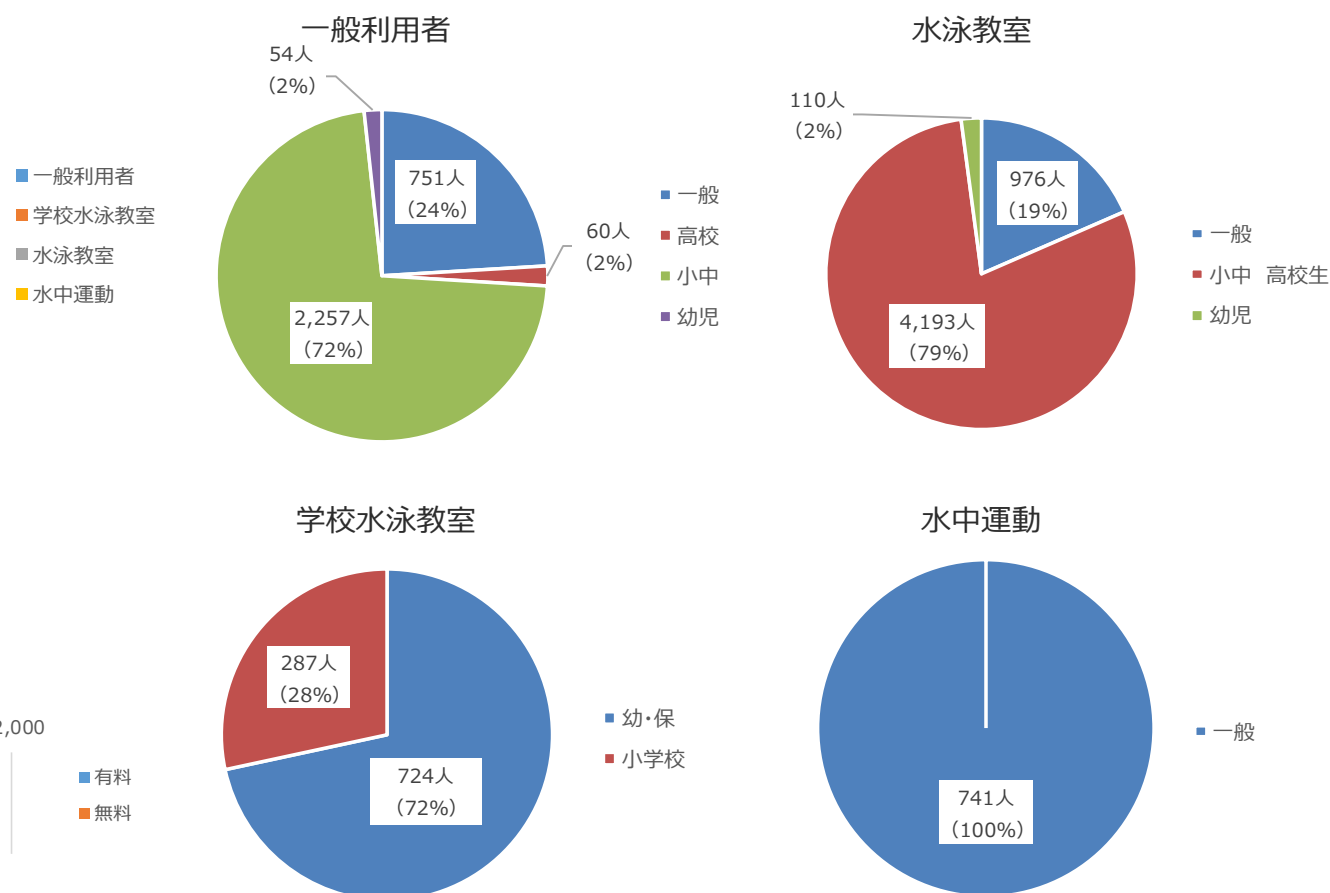
2-6. 個別施設の状況 川湯屋内温水プール 利用者の属性

- 水泳教室での利用が最多。年代別に見ると、一般利用は小中学生、水泳教室は小学生から高校生、学校水泳教室は幼保の利用が多く、水中運動は一般のみ。全体として10代以下による利用が多い。
- 無料での利用者が全体の約8割を占める。

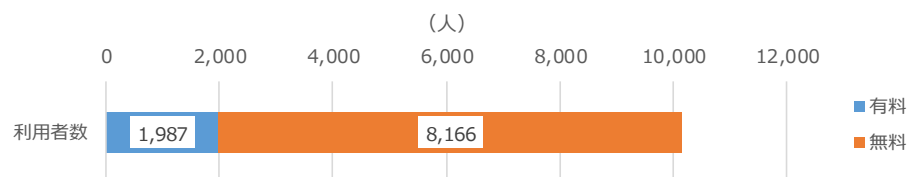
図表：利用者数（用途別）の推移



図表：各用途における年代別利用者数（平成30年度）



図表：利用者数（料金別）の推移



出所：貴町提供資料を基に日本総研作成

2-10. 個別施設の状況 老朽化の状況（泉の湯・川湯温水プール）

- 泉の湯は雨漏り、外壁・内壁の亀裂、温泉設備の老朽化等が課題であり、近年頻繁に改修が行われている。

図表：劣化状況の例



機械室：配管、バルブ、ポンプ等、
設備全体的に老朽化が激しい



管理人室：ガラス窓・壁破損

- 川湯屋内温水プールは他の施設と比較して湿度の高い施設であることにも起因して、施設に傷みが生じている。近年は改修・修繕のために長期間休館する年もある。

図表：劣化状況の例

図表：近年の改修等に起因する休館の状況

平成27年度	4月1日～5月31日までプール槽改修工事の為休館
平成29年度	5月11日～8月2日までプールガラス落下防止措置工事の為休館
平成30年度	2月4日～5月5日まで監視歩廊スラブ剥離工事の為休館



床：ひび割れ



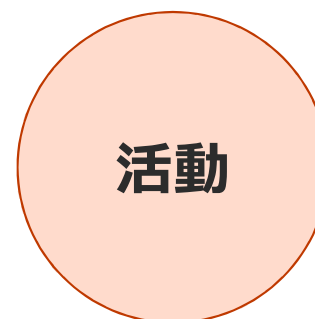
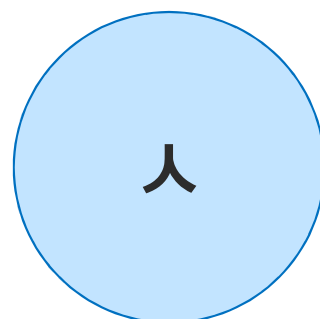
鉄骨：錆及び腐食

出所：貴町提供資料を基に日本総研作成

3. 本日のワークショップについて

1. 第二回町民会議のふりかえり①

- 第二回会議では、各班に分かれて、中心市街地や営林署跡地に①どんな人に来てほしいか、②そこでどんな活動をしていると良いか を考えました。
- また、それぞれのアイディアについて優先順位がつけられそうかどうかを議論し、拡販で話し合った内容を発表しました。



どんな人に来てもらいたいか
 どんな人が集まる・訪れると良いか



そこでどんな活動をしていると良いか
 どんな体験・経験ができると良いか



2. 第二回町民会議のふりかえり②

- 1 班での議論の結果は下記の通りです。
- 町民（特に若い人）に来てほしいという意見が出されました。活動については入浴する、楽しむ、くつろぐなど様々な例が挙げられましたが、特に「入浴」に注目すると様々な機能を包含できるのではないかという意見がありました。

どんな人に来てほしいか

町民、特に若い人をターゲットにしたいという意見が出されました。

- 子ども
- 若い人（30代まで）
- 現役世代



どんな活動をしていると良いか

様々な活動が挙げられましたが、「**入浴**」に注目すると全ての論点が包含できるのではないかという意見もありました。

- 入浴する
- 防災拠点
- 安心できる場所
- 子どもやお年寄りのコミュニティの場
- 楽しむ
- くつろぐ

3. 第二回町民会議のふりかえり③

- 2班での議論の結果は下記の通りです。
- 「人」の観点では子ども、若者、子育て世代に注目する意見が多くありました。「活動」の観点では体を動かすこと（遊ぶ、運動するなど）に関連する意見が多く挙げられました。

どんな人に来てほしいか

子ども、若者、子育て世代に注目する意見が多くありました。

- 老人と子ども
- 健康に気を使う人
- 子ども・親の交流、子育て世代
- 生産年齢層
- まずは町民全体、次に観光客
- 疲れている人（運動とも関係、ヒーリング）



どんな活動をしていると良いか

体を動かすことに関連する活動（遊ぶ、運動するなど）に注目する意見が多く出されました。

- 同じ空間で生活することで、生産年齢層を支える
- 体を動かす
- 遊ぶ
- 経済活動の中心
- 知る、学習する
- 運動する
- 温泉につかって、ゆっくり休む

4. 第二回町民会議のふりかえり④

- 3班での議論の結果は下記の通りです。
- 「人」の観点では町民を最優先としつつ、観光客や転入者にも注目しました。「活動」の観点では弟子屈町のことを知ること、コミュニケーションや憩いの場を作ることが重視されました。

どんな人に来てほしいか

まずは**町民**を優先すべきとの意見でしたが、町外の人（**観光客、転入者**）を挙げる意見もありました。

- 全世代の町内の人（最優先）
- 全世代の転入者（2番目に重要）
- 観光客（3番目に重要、道の駅から町内に誘導できるとよい）
- 子育て世代



どんな活動をしていると良いか

住民の方自身が**弟子屈町のことを知る**のがまず重要ではないかとの意見でした。そのほかコミュニケーションや憩いの場も、重要ではないかとのことでした。

- 弟子屈町のことを色々知ろう！
…歴史を知る、自然を知る
- コミュニケーションの場
- 憩いの場
- 経済活動
- 各種集い、施設利用
- 銭湯
- 読書活動
- 食事ができる場所

5. 第二回町民会議のふりかえり⑤

- 4班での議論の結果は下記の通りです。
- 「人」の観点では、町民（特に乳幼児や小中高生）に来てもらうことで、その他の人への波及効果を期待する意見がありました。「活動」の観点では、遊ぶこと、交流すること、経済活動に注目する意見が多くありました。

どんな人に来てほしいか

町民（特に乳幼児や小中高生）に来てもらうことができれば、その他の人にも波及効果があるのではないかと意見でした。

- 乳幼児、小中高生（町民）

↓波及

- 町外の人、海外の人
- その他の世代の町民
- 温泉を求める人
- 地場食材を求める人



どんな活動をしていると良いか

交流が生まれるような活動や、経済的な活動が多く挙げられました。

- 子供同士での交流
- 子どもや町民が遊ぶ、休む、食べる（特に遊ぶことが重要）
- 多世代での交流（地域の学習塾など）
- 町民と町外・海外の人の交流、お金を落とす体験（アイヌ、獅子舞、川湯ばやしなど）
- 温泉を楽しむ、入浴する
- 食材を買う、食べる

6. 第二回町民会議のふりかえり⑥

- 5班での議論の結果は下記の通りです。
- 「人」の観点では町民（特に子ども、高齢者）と観光客それぞれに注目する意見がありました。「活動」の観点では、経済活動に注目する意見も多く出されました。営林署跡地に限らずまずは町並み形成を行うべき、との提案もありました。

どんな人に来てほしいか

多世代の町民に来てほしいといった意見があった一方、**町外の人**にも来てほしいとする意見もありました。

- 世代を超えた町民
- 地元のお年寄りと子どもたち
- 高齢者
- 地域住民（特に高齢者が集えるように）
- 町民や近隣町村から来てほしい
- 道の駅利用者（観光客・町外客）
- 都会でなかなか自然にふれあえない小中学生
- まちづくりに成功している地域の行政職員



どんな活動をしていると良いか

入浴施設など**一日過ごせるような場所**、**商業活性化**などの意見が出されました。

- コラーレ含め、近隣の空き店舗・空き地を活用して各々の用途に合った中心街にしてほしい
- 一日を過ごせるようなスペースや用事ができる
- 休憩スペース、食堂の利用
- 温泉入浴施設の利用、町内観光
- 道の駅だけでなく町内商業でも稼げる
- アウトドア体験会社やボーイスカウト協会
- 街の活性化を目指した町並みの整備や実践に関する知識の提供

7. 第二回町民会議のふりかえり⑦

- 各班での検討結果を取りまとめると、下記の通りです。

グループ	どんな人に来てほしいか	どんな活動をしていると良いか
1 班	町民（特に若い人）	防災・安心、コミュニティーづくり、楽しむ、くつろぐなど様々な活動が挙げられるが、特に「入浴」に注目
2 班	- 町民（特に子ども、若者、子育て世代）が最優先 - 観光客は町民の次に重要	体を動かすことに関連する活動（遊ぶ、運動するなど）に注目する意見が多い
3 班	- まずは町民（全世代）が優先 2 番目に転入者、3 番目に観光客が重要	- まずは町民が弟子屈の歴史や自然について知るのが重要 - 銭湯などはコミュニティや憩いの場として機能するのではないかと
4 班	- まずは町民（特に乳幼児や小中高生）に来てもらう - 他の世代、観光客、外国人への波及効果に期待	遊べること、人が交流すること（子供同士、多世代、町外の人など）、経済活動等が重要
5 班	- 町民（特に子どもやお年寄り）が重要 - 観光客や町外の人にも注目	- 町内の人が一泊二泊するような場所 - 町内観光や商業活性化等の観点にも注目

- 町民の利用が優先。若い人を中心に体を動かして遊んだり、入浴したり、交流したり、町について知ることができるとよい
- 経済活動を促すことも重要（町内観光の拠点、お金を落としてもらう）

8. 第三回町民会議の議題①

- 2つの議題についてワーキンググループ（各机）で話し合います。

【テーマ1】

こども、若者（中学生～40代をイメージ）にとって 居心地のよい場所・必要な場所とは？

学生にとっては・・・

- 友達と集まって話せる場所／友達と遊べる場所／友達と一緒に勉強できる場所／一人になれる場所／親から離れられる場所／体を動かす場所／イベントが定期的に行われている場所／少し年上の人と会える場所／将来そこで働いてみたいと思える場所／学生自らが運営する場所／ など

子育て世代・社会人にとっては・・・

- 同世代と集まって話せる場所／子育ての情報交換ができる場所／学生と話せる場所／年配の方と話せる場所／疲れを癒せる場所／お酒が飲める場所／ビジネスを起こせる場所／職場以外で仕事ができる場所／趣味が楽しめる場所 など

※「学生」と「子育て世代・社会人」のそれぞれについて、お考えください。

※場所だけでなく、具体的な施設イメージも併せて出していただいても構いません。

8. 第三回町民会議の議題②

- 2つの議題についてワーキンググループ（各机）で話し合います。

【テーマ2】

具体の施設をイメージしたとき、どこで稼ぐのか（誰が何にお金を払うのか）

誰が...

- 道外の観光客／外国人観光客／近隣自治体からの来訪者／町民 など

何にお金を払うのか...

- 入浴／イベント／飲食／宿泊／プール／フィットネス など